

## 『地球の科学』(1946-1950)にみる戦後日本の地学教育の発進過程 The Emergence Process of Post-war Geoscience Education in Japan

山田 俊弘<sup>1\*</sup>

Toshihiro Yamada<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 千葉県立幕張総合高等学校

<sup>1</sup> Chiba Prefectural Makuhari Sogo High School

ポスト 3.11 の状況下でどのような科学リテラシーが要請されるのか、養成すべきなのか？ この議論を組み立てるうえで、戦後の地学教育の歴史をふり返ることは不可欠である。特に、その出発点における経緯を知っておくことは、当初の理念に対してその成果がどうであったのか点検するだけでなく、今後の制度構築の教訓とするためにも必要であろう。本発表では、敗戦後の占領下で新学制がスタートするまでの混沌とした時期に、どのような試みがどのような人々によってなされていたのかを、一雑誌の内容を分析することによって明らかにしたい。

『地球の科学』は、1946年11月より4年間、東京の目黒書店より刊行された。当初月刊を目指したが、季刊に変わり、合計14号を出して終刊した。編集者は東大地質の小林貞一と東京文理大の藤本治義で、「国民一般の地学知識」が「他の自然科学関係諸学科のそれに比べて極めて見劣り」がする状況を克服するため、「主として地学に関する小論文、雑録、教材の研究等を集録して中等学校卒業程度の教養ある一般人士に提供し、国民一般への地学普及」を目的としていた(加藤武夫による「創刊の辞」、1-1, 1946, p. 1)。

ここで「地学」とはどのような科学分野を含んでいたのだろうか。第1号の「地学とは何ぞや」という記事で小林は、従来の用語法に対して、それは「地球の科学 (Earth Sciences) の事である」と宣言し、古今書院の地学辞典(1935)や旧制高校の地学の内容を例に、地質学を主体としつつ地球物理や測地、地球化学、天文気象、気候、海洋、湖沼等の分野を掲げている(1-1, 1946, p. 17)。一方、旧制中学の科目編成については、「物象と云う変なものが出て物理・化学・地学を一括して生物学だけを分離してしまったが... 此四科目は理科として一括するか、さもなければ各々独立す可きもの」と批判した(同, p. 19)。

戦後の「地学教育振興運動」は、すでに終戦の年から準備が始められたようだが、1946年に入って文部省への陳情や諸会合が活発化し、「地学教育の科学的研究をなすため」日本学術振興会に第93小委員会が設置され6月に第1回研究会が持たれた。この研究は3年計画で、初等中等学校・高等学校・大学地質鉱物科・専門学校(大学工農学部を含む)・社会教育の5班に分かれて推進されるもので、いわば包括的な地学教育学の基礎を築こうとするものであった(1-1, 1946, p. 20)。

以降、一方で1947年4月の新制高校教科課程に関する通達から翌年1月の学習指導要領(物化生地)の発行を経て新制高校が発足し、他方で1948年1月の大学設置委員会の設置と一般教育研究委員会の発足(自然科学部門東京地区委員会小委員に小林と気象学の正野重方の名あり)から大学の教養課程における地学の「コースプラン」についての検討を経て1949年新制大学がスタートする。小林は、大学一般教育としての地学は「即地質学と云う様な狭いものでもなければ、又専攻学究の予備知識としての現代地学の摘要でもない。文科理科の別なく一般教養としての地学である」とその教育上の意義を強調した(3-4, 1948, p. 122)。

雑誌『地球の科学』は、教育のカテゴリーとして認知度の低い、再定義された「地学」を、一般に向けて積極的に売り出し関心を喚起しようという役割を与えられていたことが分かる。と同時に、旧制度から新制度に移行する期間の研究成果や議論の過程を公開し、ドキュメントとして残したものと評価できる。この試みは地学教育研究会(1948年6月発足)を経て日本地学教育学会に引き継がれる。自然災害や環境の問題を含めて「地学」を新たなカテゴリーとして鍛え直し新生させる際に、出発時の経緯を確認しておくことは重要に違いない。

キーワード: 科学教育史, 昭和戦後期, 地学教育史, 地学の普及, 地球の科学, 小林貞一

Keywords: history of science education, Showa Post-war Period, history of geoscience education, popularization of geoscience, EARTH SCIENCE, Teiichi Kobayashi